

介護総合演習 I

担当教員 吉岡 久美、馬場 敏彰

配当年次 1年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

1. 利用者とのコミュニケーションにより人間的な関わりを深めることで、利用者の生活について理解できることを学ぶ。
2. 体験学習の意義、重要性について理解できる。
3. 介護実習の意義、目的や利用者へのかかわり方について理解できる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	
1	介護実習の意義や目的、位置付けについて理解する	〈吉岡〉
2	実習施設の種類に関して知り、実習段階を理解する	〈吉岡〉
3	福祉施設（通所・居宅）の機能と職員の役割について理解する	〈吉岡〉
4	福祉施設（通所・居宅）利用者の特徴とコミュニケーション方法を理解する	〈吉岡・馬場〉
5	実習生としての心構え（マナーを含む）を知る	〈吉岡〉
6	介護実習における記録の必要性とその意義について理解する	〈吉岡〉
7	実習に必要な書類について理解し、作成する	〈吉岡〉
8	実習準備としての事前訪問について理解する	〈吉岡〉
9	実習日誌の重要性を理解し、具体的方法を知る	〈吉岡〉
10	介護実習 I の目的を明確化し、目標設定をする	〈吉岡〉
11	介護実習 I の実践をイメージした行動計画を立案する	〈吉岡〉
12	介護実習 I にむけた実習施設別の学習課題とその指導（個別指導）	〈吉岡〉
13	介護実習 I 直前指導：目標設定の見直し、および施設理解を深める	〈吉岡〉
14	介護実習 I 事後指導：自己の行動を客観的に振り返る	〈吉岡・馬場〉
15	介護実習 I 事後指導：実習における目標の達成度の確認と学びの共有	〈吉岡・馬場〉

【履修上の注意事項】

大学における規定の出席回数を満たしていなければ評価対象としない。
 事前学習として、講義で示している単元のテキストを読むこと。
 事後学習では、講義中にとったノートをまとめなおし、実習に向けた事前学習ノートを整理するとともに、課題に取り組むこと。

【評価方法】

演習への積極性、参加態度 60% 提出物（課題・レポート等）40%

【テキスト】

介護福祉士養成講座編集委員会『介護総合演習・介護実習』中央法規

【参考文献】

適宜紹介する。